

輝け！高生中

文責 校長 和田義則

平成30年度 高生中学校 第32回体育大会開催

本校体育大会の教育目標は、1・2・3年の縦割りのブロック別に分かれて学年間の壁を越えて取り組み、規律意識、達成感等を育成することです。最大の見せ場である集団行動は、各ブロックでリーダー(3年生)が、1・2年生を指導して、注意し、褒め、励まして作り上げていきます。その成果があり、集団行動は行進、体操、掛け声等も最高の演技でした。この体育大会を通して、生徒が多くのことを学び、成長することを願っています。

この大会にご尽力いただいたPTA及びおやじの会の皆様、練習中の放送・音楽などにご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



生徒感想(3年生)

私は、体育大会でダンス・集団行動委員になり、自分は向いていないのではと不安でしたが、みんながんばってくれて、自分たちの仲間がこんなにも心強いことが誇らしかったです。本番当日、集団行動では全員が練習以上の実力と声を出した、「無我夢中」や「一生懸命」はこんな感じなんだなあと感じました。他のブロックの声の大きさやきれいさに感動しつつも、「負けたくない。」という闘争心が燃え、それでいて不安になり、言い表しがたい気持ちになりましたが、始まったとたん楽しくなって、終わった時は初めて自分たちを今すぐほめたいと思いました。今までがんばって本当によかったです。



中学校生活最後の体育大会で、残念ながら惜しくも準優勝だったけど、最後に〇〇先生が泣いて、自分も感動して涙が出そうになったけど、泣いたら恥ずかしいと思い我慢していました。クラスの子も泣いている子が何人かいて感動したんだと思いました。中学校生活最後の体育大会で、一番楽しい思い出になりました。

僕は、色長として働きました。集団走やダンスをみんなに教えるために夏休みも学校に行き練習をしました。いざみんなの前に立って教えると難しかったです。大勢の前に立って何かをするというのは生まれて初めてだったので不安でいっぱいでした。今年の体育大会は最後の体育大会だったけど、この3年間で一番良かったです。みんな必死だったし、全力だったのですごく楽しかったです。みんなに楽しんでもらえてよかったと思いました。



生徒感想(2年生)

昨年は先輩についていながら頑張ろうという感じでしたが、今年は自分たちが先輩なんだという自覚をもって行動することができました。3年生は夏休みから頑張ったり、体育委員は毎朝ラインをひいたりして、皆が見ていないところで動いてくれたから最高の体育大会になったと思います。昨年何も考えずに体育大会を楽しんでいた私がとても恥ずかしく思えてきました。



一番学んだことは、見に来てくれた人は1位の人の姿だけに感動するのではなく、負けても最後まで全力で頑張る姿に引き付けられ感動することです。最後先輩が涙を流していて、大差で負けたけど最後まで頑張ったから涙が出るんだと思いました。

1年生の時は感じなかった勝敗とは違った大切なことを感じました。練習に本気で取り組むことで、本番が終わって楽しかったや悔しかったという思いが生まれました。またみんなでまとまって一つのことに取り組むことです。一人で何かを作り上げた時よりも、今回の集団行動のように負けてもたくさんの人にも自分にも感動を与えることができるし、達成感と素晴らしさが感じられました。



生徒感想(1年生)

私が一番感動したのは集団行動です。家に帰ってビデオを見せてもらおうと、悪いところもあったけど、誰一人とし力をめいておらず、一人一人の顔から必死さが伝わってきました。練習が一番きつかったのは集団行動でしたが、見て一番感動したのも集団行動でした。お母さんは「涙が出そうになった。」と言っていました。それを聞いて、今までがんばってきてよかったと思いました。

私は体育委員なので、体育大会という行事に責任を持って行動しようと思った。不安はあったけど、先生方や3年生が丁寧に教えてくれて不安がなくなった。集団行動は2位だったけど、声では負けてないと思い、みんな一生懸命に取り組んだ結果がこれなので、この集団行動は成功だと思う。来年は、今年よりもっといい体育大会を創っていきたいと思う。

みんなが1年生の応援だけでなく、2・3年生の応援も一生懸命して、みんなの心が一つになったから優勝できたんだと思いました。中学校最初の体育大会をこのメンバーでできてとても楽しい体育大会になりました。

